

○ ニューヨークで和牛プロ向け普及セミナー、霜降り肉に賞賛の声—ジェトロ・中畜

ジェトロと中央畜産会の主催の「日本酒・和牛肉プロ向け普及セミナー」がこのほど、米国・ニューヨークの404NYCセミナー会場で開かれ、現地のプレスやレストラン・バー、小売店、インポーター・ディストリビュータ関係者など800人が参加し、和牛のプロモーションを行った。



国の「輸出拡大及び日本食・食文化発信緊急対策事業」の一環で行われたもので、現地では日本酒の人気が高まっており、今回、和牛とのペアリングで開かれた。

当日のセミナーでは、オリエンテーションを全農畜産総合対策部の山口瑤介氏がを行い、

ミートコンパニオンの植村光一郎常務取締役がサーロインのCuttingと試食の盛り付けを行った。今回使用した和牛はA5等級のサーロイン。牛肉の本場米国のプロからもその芸術的なマーブリングとメルティな食感、風味から絶賛されたという。また質疑応答では、飼料やと畜前の牛のストレス解消方法、米国への輸出割合、生体重に関する質問が上がった。

植村氏によると、米国では脂肪に対して嫌悪感を持つことから、当初は和牛の脂肪交雑について抵抗を示す声が出ると懸念していたという。ところが、実際は受け入れられたので、米国での和牛の需要に期待が持てる話している。ただ、「懸念材料として、米国での和牛に対する定義が、交雑牛も和牛として扱われており、そのくくりで米国産、チリ産、ニュージーランド産、カナダ産もすでに流通していることもクリアしなければならない大きな課題だ」と話している。

○ 豚肉の原産地表示で都内スーパーに指導、安定同位体比分析で判明—東京都

カナダ産豚肉を国産豚と表示して販売したとして、東京都は7日、東京・大田区の食品スーパーイコールに対してJAS法に基づく指示を行ったことを発表した。都が実施している食品表示適正化事業のなかで、都内で流通販売している豚肉（生鮮）について、安定同位体比分析により産地判別検査を行ったところ、同店で販売される国産豚肉が外国産である疑いが生じたため、調査を行ったもの。

その結果、今年8月1日から9月2日までの間にカナダ産豚バラ肉を「国内豚」「国産豚肉」と表示。バラブロックやバラ薄切りなど、少なくとも253.3kg（1,195パック）を販売、JAS法に違反する行為であることを確認した。

このため、都では同店に対して適正な表示への是正や品質表示のチェック体制の強化、従業員への教育などJAS法に基づく指示を行っている。

△ 日本食肉流通センター乳牛チルド部分肉相場（経産除く）

(11月5日～11月11日)

[2]

部位名	首都圏			近畿圏			九州圏		
	加重平均	前週平均	取引重量	加重平均	前週平均	取引重量	加重平均	前週平均	取引重量
かたロース(クランク)	1,944 円	1,892 円	16,776 kg	1,829 円	1,730 円	31,773 kg	1,899 円	1,811 円	7,469 kg
かた(うで)	1,280	1,229	8,250	1,267	1,237	20,793	1,268	1,242	8,144
かたばら(まえばら)	945	1,050	863	-	-	-	986	1,085	2,985
三角ばら	-	-	-	2,078	2,088	2,570	-	-	-
ブリスケット	-	-	-	888	859	10,920	-	-	-
ヒレ(ヘレ)	4,142	4,057	3,938	4,136	4,149	7,673	3,952	3,898	1,950
ロイン(ロース)	2,808	2,778	9,002	2,643	2,583	14,000	2,601	2,532	6,750
ともばら(ばら)	907	917	7,384	842	824	60,226	924	920	6,868
うちもも	1,248	1,169	6,137	1,276	1,235	12,231	1,257	1,247	2,498
しんたま(マル)	1,269	1,225	4,534	1,290	1,250	12,538	1,237	1,248	3,427
らんいち(ラム)	1,276	1,219	5,197	1,292	1,248	11,710	1,233	1,248	3,230
そともも	1,227	1,113	5,951	1,255	1,219	15,153	1,214	1,222	4,047
すね(ちまき)	918	915	8,639	964	938	16,761	983	966	4,550
セット	1,535	1,448	74,712	1,467	1,465	50,619	1,449	1,431	12,770
合計	-	-	151,383	-	-	266,967	-	-	64,688

[週間概況] 首都圏＝ 全般的に価格は強保合。  
近畿圏＝ 引き続き、全般的に価格は強含み。  
九州圏＝ スライス系に荷動きみられ、価格も強保合。